

## “今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

※特に断りの無い限り日付は日本時間です。

- ☆最初のISS構成要素打上げから2916日経過しました
- ☆第14次長期滞在クルーのISS滞在は55日経過しました
- ☆ISS動向

第14次長期滞在クルーのマイケル・ロペズ-アレグリア、ミハイル・チューリン、トーマス・ライター宇宙飛行士は、先週、船外活動の準備や、科学実験を行いました。

ロペズ-アレグリア、チューリン両宇宙飛行士は、米国時間11月22日に行う予定の船外活動に備えて、エアロックである「ピアース」(ロシアのドッキング室)の準備や、使用する道具などの準備を整えました。船外活動は約6時間にわたり行われる予定です。今週には、船外活動で着用するロシア製のオーラン宇宙服の準備を行う予定です。ふたりは、この船外活動で、通信アンテナの移動、新しい実験機材の設置を行う予定です。また、チューリン宇宙飛行士は、ロシアの商業活動の一環として、ピアース外壁の突き出た部分からゴルフボールを打つことも予定しています。

NASAサイエンス・オフィサーであるロペズ-アレグリア宇宙飛行士は、栄養状態の評価実験のため、3回目となる血液と尿のサンプル採取を行いました。この実験は、宇宙飛行中の人体の変化を示す生理学的指標を測定するものです。

また、ロペズ-アレグリア宇宙飛行士は、米国の中間選挙の投票を行ないました。ロペズ-アレグリア宇宙飛行士の故郷であるテキサス州の法律では、市民が選挙の当日に軌道上で働いていたとしても、宇宙から投票することができます。宇宙からの初めての投票は1997年にデイビッド・ウルフ宇宙飛行士がミールに搭乗していた時に行われました。ロペズ-アレグリア宇宙飛行士は、暗号化されたコンピュータ票を地上のミッションコントロールセンターに送信して投票し、データはヒューストンの郡書記オフィスへ、集計のため転送されました。



科学実験の準備を行うミハイル・チューリン(左)、トーマス・ライター(右)両宇宙飛行士 (提供:NASA)

## “スペースシャトル・ディスカバリー号(STS-116)の状況”

NASAケネディ宇宙センター(KSC)では、STS-116ミッションで飛行するスペースシャトル・ディスカバリー号の準備作業が進められています。ディスカバリー号のペイロードベイ(貨物室)に搭載されるP5トラスとスペースハブ・モジュールはペイロードキャニスターに搭載され、米国時間11月6日、射点へと移動しました。また、スペースシャトル組立棟(VAB)内で外部燃料タンク(ET)・固体ロケットブースタ(SRB)と結合されたディスカバリー号は、米国時間11月9日に、VABから射点へ移動しました。射点では、打上げに向けた準備が進められています。



VABから射点へ移動するディスカバリー号



ペイロードキャニスターへ搭載されるペイロード



宇宙ステーション整備施設(SSPF)から射点へ移動するペイロードキャニスター

(写真は全てNASA提供)

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/>

Eメール [kibo-pao@jaxa.jp](mailto:kibo-pao@jaxa.jp)

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.sfo.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。